

大橋中学校



阪神・淡路大震災のときと全く同じ事が繰り返されている  
same scenery is repeated as Hanshin-Awaji

1/17：夜に区役所福祉課より食料届く

※ 翌日からは学校職員が物資を対策本部まで取りに行っていた

1/18：区から150枚，神楽小から400枚の毛布

1/31から食料は安定供給される

※ 朝夕の1日2食の配給

仕分けが特に大変 配給には混乱・不公平の無いよう気遣い

※避難者を11班に分け班毎に配給

大橋中学校



南グラウンドいっぱいには張られたテント 4/3

大橋中学校



一人当たり毛布一枚分程度のスペースで生活する 4/3



避難所となった学校 = トイレの問題・深刻



南グラウンドの簡易トイレ 5/9

<簡易トイレ>

1/17：昼には詰まってしまい使用できなくなる

1/18：北グラウンド南側に簡易トイレ2カ所設置

1/20：区役所から簡易トイレ4基届く・南グラウンド

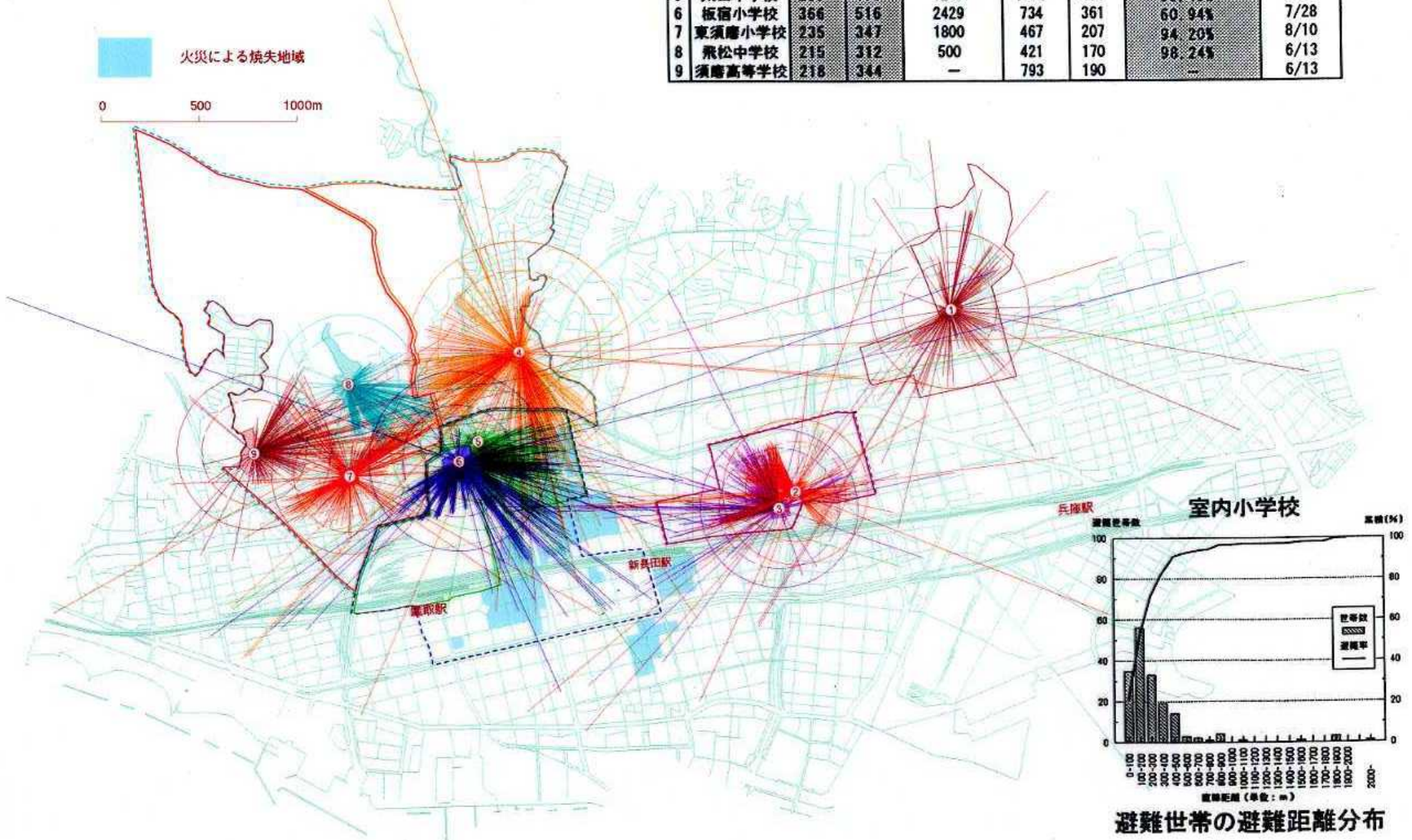
※ 簡易トイレは穴を掘ってベニヤとブロックで囲い、  
いっぱいになると穴を埋め隣の穴に囲いを移動

#### 4.4 避難所の圏域構造

震災後の避難行動にはおよそ最近接指向が認められる  
 学校区を基準とした地域コミュニティの影響が大きい

各避難所の避難圏と校区内避難世帯率

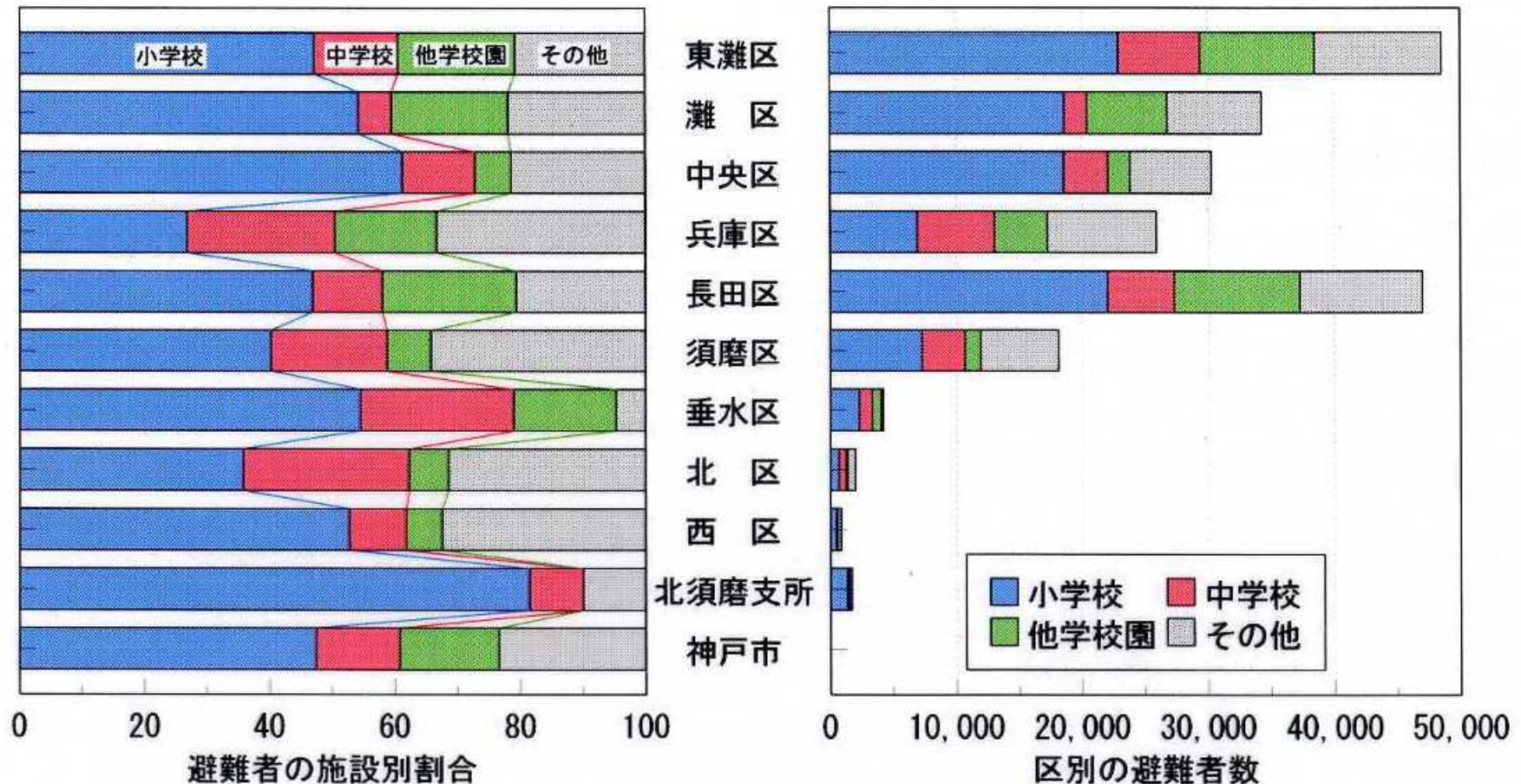
No	学校名	50%圏	80%圏	最大避難者数	避難者数	世帯数	校区内避難世帯率	名簿入手日
1	室内小学校	192m	356m	420人	331人	173	87.86%	7/4
2	大橋中学校	206	322	330	293	142	78.87%	4/3
3	神楽小学校	257	354	1402	505	185	85.41%	6/14
4	大黒小学校	245	398	2300	551	245	73.88%	6/14
5	太田中学校	235	408	1240	1112	436	89.45%	9/26
6	板宿小学校	366	516	2429	734	361	60.94%	7/28
7	東須磨小学校	235	347	1800	467	207	94.20%	8/10
8	飛松中学校	215	312	500	421	170	98.24%	6/13
9	須磨高等学校	218	344	-	793	190	-	6/13



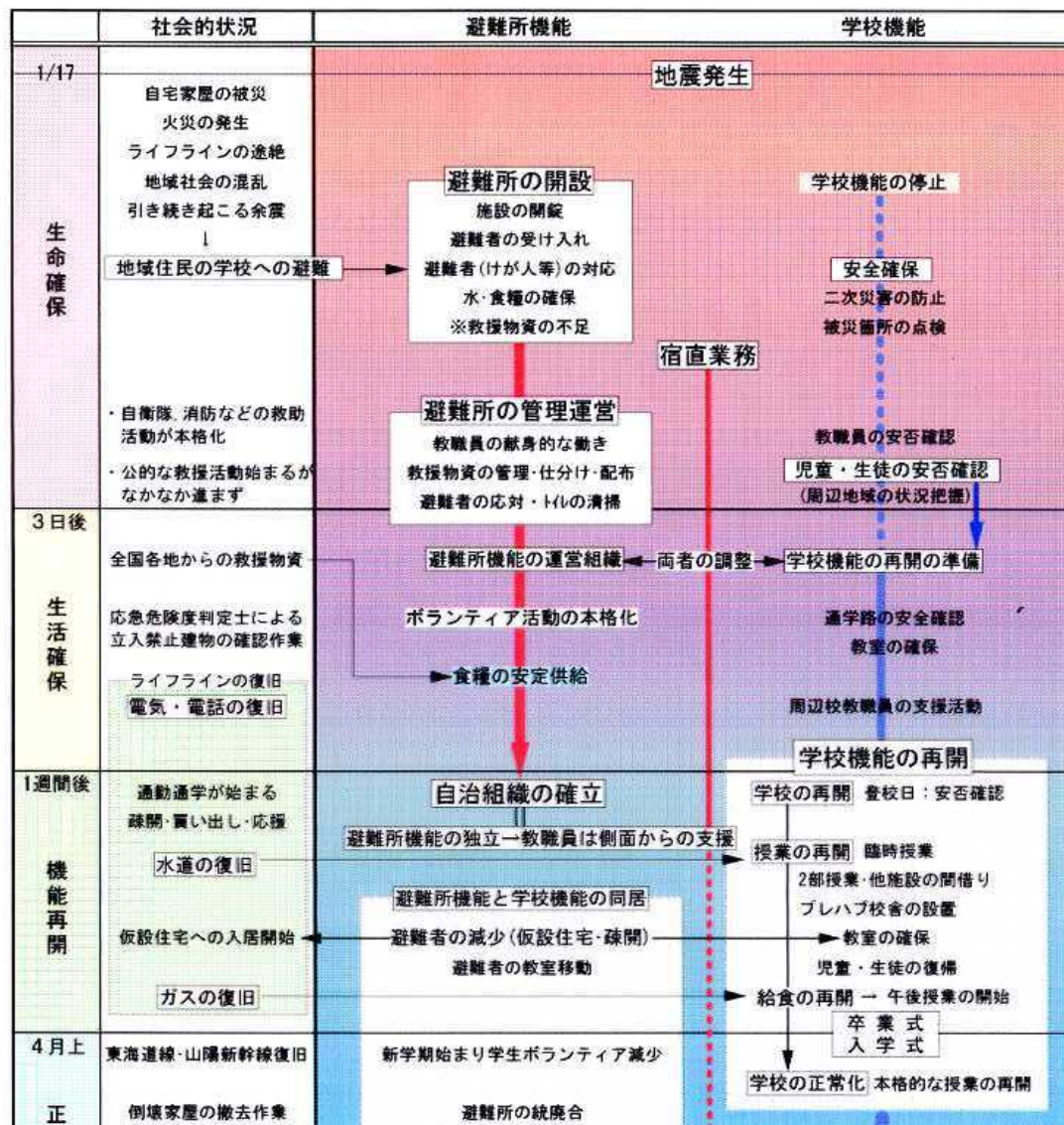
## 第4章 避難場所として機能した学校

### 4.2 施設別の避難者数

神戸市内の避難者の約8割が学校園に避難(小・中学校だけで6割を占める)  
 神戸市では小・中学校が避難拠点として極めて重要な役割を果たした



避難者数でみた施設種別の割合(神戸市内)



## 避難所となった学校: 機能再開までのプロセス

Schools as the Emergency Evacuation Site and the Shelter for the Refugees

Process up to the resumption of school function